



有色米のカルシウム含量は「コシヒカリ」よりも多い

研究のねらい

有色(色素)米はミネラルが多いといわれているが、それを裏付けるデータが少ない。そこで、有色米と「コシヒカリ」で各種ミネラル含量を明らかにする。

成果の内容

①試験ほ場で栽培された7品種・系統の有色米の平均カルシウム含量は、同じ条件で栽培された「コシヒカリ」と比較してかなり多く、カリウムも多いが、他のミネラル含量に差は認められない(図1)。

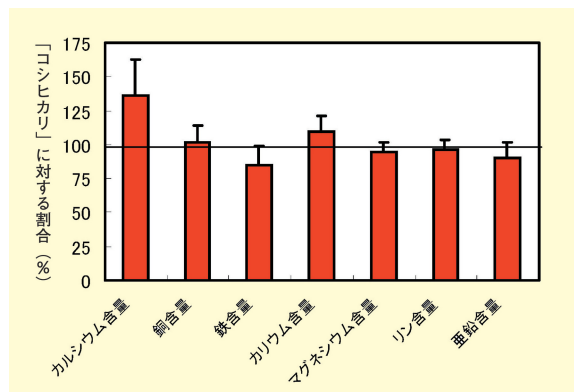


図1 2002年～2004年度試験ほ場産有色米(7品種・系統)とコシヒカリのCa含量

②試験ほ場で栽培された7品種・系統の有色米のうち、カルシウム含量は1系統を除いて「コシヒカリ」よりも多い(図2)。

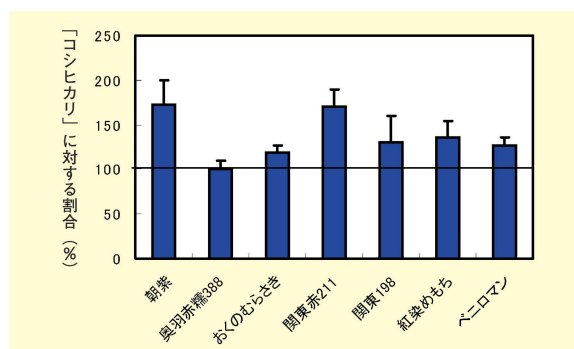


図2 2002～2004年度試験ほ場産有色米のカルシウム含量の品種間差

③一般に流通している市販の有色米(25点)においても、カルシウム含量は市販の「コシヒカリ」(21点)と比べてかなり多い(図3)。

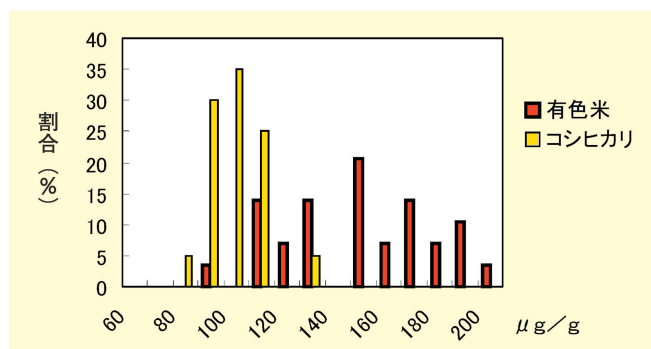


図3 市販の有色米と「コシヒカリ」のカルシウム含量の分布

成果の利活用

カルシウムは日本人に不足しているミネラルであり、その摂取量を増やすことが推奨されている。その観点から有色米の消費拡大のための重要な情報となる。

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 東北農業研究センター
<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/>

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
 TEL 019-643-3414(企画管理部情報広報課)
 FAX 019-643-3588